

切磋琢磨し合う能力開発



打ち合わせをする日本人社員とベトナム出身の外国人材スエンさん(画像中央右)、チヨンさん(画像一番左)



三進工業株式会社

業種：製造業

所在地：高崎市

従業員数：64名うち外国人材16名(申請時点)

(技術・人文知識・国際業務：2名、

特定技能：2名、技能実習：12名)

(国籍：ベトナム、ネパール)

HP：<https://sanshinkogyo-p.co.jp/>

① 外国人材採用のきっかけ

2005年からベトナム技能実習生の受入れを開始しました。2005年当時は、技能実習生は最長でも3年間しか働くことができなかつたため、「作業員」としての側面が強くありました。しかし、彼らの業務態度や意欲に感化され、制度改正により

最長で5年間の受入れが可能になったことをきっかけとして、2017年からは彼らを「作業員」ではなく「技術者」として育成することを決意しました。2023年までにのべ30名程度の外国人材を採用しています。

② 採用時に意識していること

採用時には外国人材との間に

業務に対する認識の齟齬がないよう、夜勤・残業・土日出勤等の勤務形態について明確に伝えることを意識しています。そのため、採用時は社長自ら現地に赴き採用面接に立ち会っています。

作業の正確さや理解力だけでなく、業務に対する熱意も重要な採用のポイントです。

**3****POINT!**

基準を明確にする 会社独自の技術支援

会社独自の評価基準

技術支援の最も大きな特徴は**会社独自の評価制度**です。三進工業では在留資格「技能実習2号」から「技能実習3号」に移行する条件に、プラスチック成形技能検定3級に合格していることを設定しています。また、「技能実習3号」から「特定技能1号」に移行するためには、プラスチック成形技能検定2級に合格している必要があります。プラスチック成形技能検定は3級から1級、特級まで

あり、1級以上は日本人でも資格取得が困難です。**2023年**末時点で、当社の外国人材は**最高で技能検定2級に合格**しています。

このように評価の基準を明確にし、正当に評価することは社員全員の業務に対するモチベーション向上という意味でも重要です。日本人社員に関しては、プラスチック成形技能検定1級合格に向けた5年間の技術育成計画を立てています。将来的には外国人材も日本

人社員と同じ成長計画で技術を学んでもらい、「特定技能2号」を目指してもらいたいと考えています。

第一線で活躍できる人材に

技術育成以外ではリーダーシップの育成を意識しています。そのため、後輩の外国人材への指導やアドバイスも評価の基準として明確化しています。これには、彼らが帰国した時、**母国でも第一線で活躍できるような力を育てたい**という想いがあります。

実践を中心とした勉強体制

技能検定の勉強は過去問を中心にOJTによる**指導や自主訓練**によって行っています。自主訓練の際には特級・1級技能士が指導役となり、試験と同じような環境・時間配分で訓練を実施します。特定技能の外国人材も技能検定2級の指導役として訓練をサポートすることがあります。



製品の確認作業をするベトナム出身の外国人材サンさん(画像左)と日本人社員

4

日本語教育と生活支援

業務に関連する日本語から

日本語教育支援に関しては、**会社として、専門用語などの業務や試験に直結した日本語の教育に取り組んでいます**。問題集を用いながらOJT的に指導を行い、試験の過去問を繰り返し解くことで知識を身に付けていきます。

日本での生活に慣れるために

採用開始当初は外国人材が日本に慣れていなかったため、定期的に生活状況を確認し、直した方がいい部分を指摘していました。現在はこのような生活支援に関しても、先輩の外国人材が中心となって支援・指導してくれています。



日本語の勉強をする外国人材のサンさん(画像左)と日本人社員



5

POINT!

外国人材の活躍



製品の確認作業をする外国人材（ダイさん）

活躍する外国人材

現在は13人のベトナム人社員がプラスチック成形技能検定3級に合格しています。

そして彼らは、技能検定2級合格に向けて勉強をしています。ベトナム人社員が頑張っている姿に日本人社員も感化され、会社全体のモチベーションの向上に繋がっています。

特定技能の外国人材2名はリーダーの役割も担っています。「特定技能2号」に移行するためには管理者としての能力を

身に付ける必要があるため、将来的には課長、工場長として活躍してくれることを期待しています。



自動機械を操作する外国人材（上、スエンさん）
製品の確認作業をする外国人材（下、ガーさん）

6

今後に向けて

現在は外国人材が帰国後も活躍できるように**海外進出を検討**しています。また、現在は製造機械の自動化が進んでいるため、技人国の人材を中心にロボット操作の技術も指導していきたいと思っています。

VOICE

三進工業株式会社

代表取締役社長 賀川 映之 さん



外国人材の採用に対して感じるハードルは企業それぞれだと思います。ですが、国籍の垣根を取り払って向き合う気持ちがあれば、全く問題ありません。一方的に日本の考えを押し付けるのではなく、外国の方の考えも受け入れていくことが重要です。

国際社会への対応が迫られる中、お互いを理解し、是非外国人材の採用にチャレンジしてほしいと思います。

VOICE

タパ ダラメンドラさん
(ネパール出身)



当社はマネジメントがとても良いと思います。また、作業環境も非常に整っており、日本人とともにレベルアップできる環境があります。

ヴー シー ルアンさん(ベトナム出身)



当社はプラスチック成形技能検定への受検など、社員がスキルアップするための支援をしてくれます。また、工場の環境も良いです。